



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月23日  
上場取引所 非上場

会社名 株式会社 但馬銀行  
 コード番号 — URL <http://www.tajimabank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 坪田 奈津樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 森脇 正司 TEL 0796-24-2111  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日 特定取引勘定設置の有無 無  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	17,186	2.4	2,004	6.6	1,246	2.8
2023年3月期	16,781	0.0	1,880	△0.2	1,211	8.4

(注) 包括利益 2024年3月期 3,277百万円(382.8%) 2023年3月期 678百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	15.60	—	2.6	0.1	11.6
2023年3月期	15.17	—	2.6	0.1	11.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 — 百万円 2023年3月期 — 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	1,338,257	48,921	3.6	607.32
2023年3月期	1,356,709	46,043	3.3	571.56

(参考) 自己資本 2024年3月期 48,509百万円 2023年3月期 45,654百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△19,801	△15,420	△400	198,011
2023年3月期	△50,340	467	△400	233,631

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00	399	32.9	0.8
2024年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00	399	32.0	0.8
2025年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00		30.7	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,000	△19.4	700	△15.2	8.76
通期	1,850	△7.7	1,300	4.3	16.27

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2024年3月期	79,875,000 株	2023年3月期	79,875,000 株
2024年3月期	—— 株	2023年3月期	—— 株
2024年3月期	79,874,998 株	2023年3月期	79,874,999 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	14,501	2.6	1,935	5.7	1,223	2.3
2023年3月期	14,124	0.3	1,830	1.3	1,195	9.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	15.31	——
2023年3月期	14.96	——

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	1,337,825	47,797	3.5	598.40
2023年3月期	1,356,683	44,980	3.3	563.13

(参考) 自己資本 2024年3月期 47,797百万円 2023年3月期 44,980百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2025年3月期の個別業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	950	△21.2	650	△20.2	8.13
通 期	1,800	△7.0	1,250	2.1	15.64

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	2
3. 連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 連結貸借対照表	3
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	4
(3) 連結株主資本等変動計算書	6
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業的前提に関する注記)	9
(セグメント情報)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10
4. 個別財務諸表	11
(1) 貸借対照表	11
(2) 損益計算書	13
(3) 株主資本等変動計算書	14

※ 2023年度決算説明資料

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### (当期の経営成績)

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症により抑制されてきた需要の回復などに支えられ、緩やかに回復しました。輸出や生産は、海外経済の回復ペースが鈍化している影響なども受けつつも、横這いの動きとなりました。設備投資は、堅調な企業収益等を背景に緩やかな増加傾向がみられ、公共投資は底堅く推移しました。また、個人消費は、物価上昇の影響を受けながらも、底堅く推移しました。

金融面についてみますと、日本銀行は、令和6年3月の金融政策決定会合で2%の「物価安定の目標」が持続的・安定的に見通せる状況と判断し、これまでの「長短金利操作付き量的質的金融緩和」の枠組みおよびマイナス金利政策を見直し、短期金利の操作を主たる政策手段として、無担保コールレートを0～0.1%で推移するよう促すことを決定しました。

このような環境のもと、短期市場金利はプラスに転じ、期末に0.05%台まで上昇し、長期国債の流通利回りは、一時低下がみられたものの、その後上昇し、0.7%台となりました。日経平均株価は、企業業績の回復と企業改革の進展を背景に、史上最高値を更新するなど、上昇基調となり、4万円台で越期しました。また、為替相場は、日米の金融政策の違いから、円安基調で推移し、期末には151円台まで円安が進みました。

次に県内経済をみますと、輸出や生産は、一部に弱さがみられたものの、横ばい圏内の動きとなりました。設備投資は増加が続き、公共投資は高水準で推移しました。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、底堅く推移しました。地場産業は、豊岡靴や真珠は回復がみられ、城崎温泉など県内の観光地の入込客数は回復の兆しがみられました。

以上のような金融経済環境のなか、当行グループは役職員一致協力して地域に密着した営業活動と経営の効率化に努めました結果、当連結会計年度の損益は、経常費用が前連結会計年度比2億80百万円増加して151億81百万円となったものの、経常収益が前連結会計年度比4億4百万円増加して171億86百万円となったことから、経常利益は前連結会計年度比1億24百万円増加して20億4百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比34百万円増加して12億46百万円となりました。

#### (2025年3月期の見通し)

2025年3月期につきましては、厳しい収益環境が続くことが予想されますが、当行グループは、引き続き地域に密着した営業活動を展開するとともに、経営の効率化と収益力の強化を図ることにより、連結ベースの経常利益18億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益13億円を見込んでおります。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産・負債の状況)

預金は、安定した取引基盤の拡充と預金の増強に積極的に取り組みました結果、前連結会計年度末比49億86百万円増加して1兆1,589億48百万円となりました。

貸出金は、地域の事業者向け貸出や住宅ローンは順調に増加しましたが、国・地方公共団体向け貸出金が減少しましたことから、前連結会計年度末比6億36百万円減少して9,560億70百万円となりました。

有価証券は、資産の流動性の確保と資金の安全性を重視し、国債・地方債を中心に将来の市場変動に配慮した運用に努めました結果、前連結会計年度末比172億70百万円増加して1,501億9百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比356億20百万円減少して1,980億11百万円となりました。

##### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、借入金等の減少等により198億1百万円の支出（前連結会計年度は503億40百万円の支出）となりました。

##### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、有価証券の取得による支出等により154億20百万円の支出（前連結会計年度は4億67百万円の収入）となりました。

##### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、前連結会計年度と同様に配当金の支払等により4億円の支出となりました。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当行グループの業務は日本国内に限定されており、当面は日本基準を採用することとしております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	235,721	200,127
コールローン及び買入手形	928	517
買入金銭債権	1,064	1,057
有価証券	132,839	150,109
貸出金	956,706	956,070
外国為替	1,756	830
リース債権及びリース投資資産	6,153	6,941
その他資産	9,027	9,430
有形固定資産	15,500	15,221
建物	4,732	4,728
土地	9,789	9,655
建設仮勘定	21	—
その他の有形固定資産	956	837
無形固定資産	683	549
ソフトウェア	647	543
その他の無形固定資産	36	5
繰延税金資産	63	8
支払承諾見返	574	532
貸倒引当金	△4,309	△3,139
<b>資産の部合計</b>	<b>1,356,709</b>	<b>1,338,257</b>
<b>負債の部</b>		
預金	1,153,962	1,158,948
借入金	147,401	123,650
外国為替	26	38
その他負債	5,823	2,277
役員賞与引当金	5	5
退職給付に係る負債	1,752	1,646
役員退職慰労引当金	336	351
睡眠預金払戻損失引当金	19	—
偶発損失引当金	41	78
繰延税金負債	6	1,099
再評価に係る繰延税金負債	716	707
支払承諾	574	532
<b>負債の部合計</b>	<b>1,310,666</b>	<b>1,289,336</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	5,481	5,481
資本剰余金	1,487	1,487
利益剰余金	33,330	34,197
株主資本合計	40,299	41,167
その他有価証券評価差額金	4,215	6,208
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,115	1,095
退職給付に係る調整累計額	23	38
その他の包括利益累計額合計	5,354	7,342
非支配株主持分	389	411
<b>純資産の部合計</b>	<b>46,043</b>	<b>48,921</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,356,709</b>	<b>1,338,257</b>

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
経常収益	16,781	17,186
資金運用収益	10,418	10,592
貸出金利息	9,383	9,504
有価証券利息配当金	750	813
コールローン利息及び買入手形利息	23	40
預け金利息	257	230
その他の受入利息	3	3
役務取引等収益	3,323	3,350
その他業務収益	2,856	2,872
その他経常収益	182	371
償却債権取立益	11	11
その他の経常収益	171	359
経常費用	14,900	15,181
資金調達費用	196	173
預金利息	193	169
債券貸借取引支払利息	1	1
借入金利息	0	0
その他の支払利息	1	3
役務取引等費用	1,988	2,069
その他業務費用	2,757	2,989
営業経費	9,220	9,408
その他経常費用	736	540
貸倒引当金繰入額	647	379
その他の経常費用	88	160
経常利益	1,880	2,004
特別損失	44	128
固定資産処分損	7	20
減損損失	37	108
税金等調整前当期純利益	1,835	1,875
法人税、住民税及び事業税	667	339
法人税等調整額	△59	267
法人税等合計	607	606
当期純利益	1,228	1,269
非支配株主に帰属する当期純利益	16	22
親会社株主に帰属する当期純利益	1,211	1,246

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,228	1,269
その他の包括利益	△549	2,008
その他有価証券評価差額金	△564	1,993
繰延ヘッジ損益	0	0
退職給付に係る調整額	15	15
包括利益	678	3,277
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	662	3,255
非支配株主に係る包括利益	16	22

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,481	1,487	32,517	—	39,486
当期変動額					
剰余金の配当			△399		△399
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,211		1,211
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				0	0
土地再評価差額金の取崩					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	812	—	812
当期末残高	5,481	1,487	33,330	—	40,299

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差 額金	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	4,780	0	1,115	7	5,904	374	45,765
当期変動額							
剰余金の配当							△399
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,211
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							0
土地再評価差額金の取崩							—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△564	0	—	15	△549	15	△534
当期変動額合計	△564	0	—	15	△549	15	278
当期末残高	4,215	0	1,115	23	5,354	389	46,043



当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,481	1,487	33,330	—	40,299
当期変動額					
剰余金の配当			△399		△399
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,246		1,246
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				0	0
土地再評価差額金の取崩			20		20
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	867	—	867
当期末残高	5,481	1,487	34,197	—	41,167

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差 額金	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	4,215	0	1,115	23	5,354	389	46,043
当期変動額							
剰余金の配当							△399
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,246
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							0
土地再評価差額金の取崩							20
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,993	0	△20	15	1,988	21	2,009
当期変動額合計	1,993	0	△20	15	1,988	21	2,877
当期末残高	6,208	0	1,095	38	7,342	411	48,921

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,835	1,875
減価償却費	773	804
減損損失	37	108
貸倒引当金の増減(△)	509	△1,170
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△53	△83
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	33	14
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	△33	△19
偶発損失引当金の増減(△)	3	37
資金運用収益	△10,418	△10,592
資金調達費用	196	173
有価証券関係損益(△)	277	480
為替差損益(△は益)	△2	△2
固定資産処分損益(△は益)	7	20
貸出金の純増(△)減	△28,921	636
預金の純増減(△)	13,342	4,986
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	△36,674	△23,751
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	323	△26
コールローン等の純増(△)減	△194	418
外国為替(資産)の純増(△)減	△790	926
外国為替(負債)の純増減(△)	15	12
リース債権及びリース投資資産の純増(△)減	△239	△788
資金運用による収入	10,544	10,633
資金調達による支出	△228	△167
その他	10	△3,655
小計	△49,643	△19,128
法人税等の支払額	△697	△673
営業活動によるキャッシュ・フロー	△50,340	△19,801
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△32,642	△50,430
有価証券の売却による収入	12,834	15,431
有価証券の償還による収入	21,337	20,084
有形固定資産の取得による支出	△890	△397
有形固定資産の除却による支出	△71	△18
有形固定資産の売却による収入	30	0
無形固定資産の取得による支出	△130	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー	467	△15,420
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△399	△399
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400	△400
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△50,270	△35,620
現金及び現金同等物の期首残高	283,902	233,631
現金及び現金同等物の期末残高	233,631	198,011

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものとあります。

当行グループは、銀行業務を中心にリース業務などの金融サービスに係る事業を行っております。

したがって、当行グループは銀行業務を基礎とした金融サービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、一般的な取引と同様の条件で行っております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
顧客との契約から生じる収益	3,350	—	3,350	—	3,350	—	3,350
その他の収益	10,981	2,815	13,797	38	13,835	—	13,835
外部顧客に対する経常収益	14,331	2,815	17,147	38	17,186	—	17,186
セグメント間の内部経常収益	169	307	477	36	514	△514	—
計	14,501	3,123	17,624	75	17,700	△514	17,186
セグメント利益	1,935	68	2,004	2	2,006	△1	2,004
セグメント資産	1,337,825	9,240	1,347,066	215	1,347,281	△9,023	1,338,257
セグメント負債	1,290,027	8,417	1,298,445	32	1,298,478	△9,141	1,289,336
その他の項目							
減価償却費	796	9	805	—	805	△0	804
資金運用収益	10,665	0	10,665	0	10,665	△73	10,592
資金調達費用	205	71	277	—	277	△103	173
特別損失	129	—	129	—	129	△0	128
(固定資産処分損)	21	—	21	—	21	△0	20
(減損損失)	108	—	108	—	108	—	108
税金費用	583	22	605	0	606	△0	606
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	529	9	539	—	539	—	539

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額の差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務代行業、不動産賃貸業等であります。
3. 「顧客との契約から生じる収益」には、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」の対象外の収益も含まれております。
4. 「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「特別損失」「税金費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、セグメント間取引消去であります。
5. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
6. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、建設仮勘定及びソフトウェア仮勘定の増加額は含めておりません。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	607円32銭
1株当たり当期純利益	15円60銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	48,921
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	411
(うち非支配株主持分)	(411)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	48,509
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	79,875

(注) 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	1,246
普通株主に帰属しない金額	百万円	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益	百万円	1,246
普通株式の期中平均株式数	千株	79,874

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないので記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	235,721	200,127
現金	20,356	20,038
預け金	215,365	180,089
コールローン	928	517
買入金銭債権	1,064	1,057
有価証券	132,914	150,184
国債	39,955	48,597
地方債	68,199	76,690
社債	12,061	8,172
株式	11,907	15,500
その他の証券	790	1,224
貸出金	963,816	963,789
割引手形	1,602	1,438
手形貸付	15,907	15,142
証書貸付	920,021	920,778
当座貸越	26,285	26,430
外国為替	1,756	830
外国他店預け	1,665	805
買入外国為替	49	—
取立外国為替	41	25
その他資産	7,980	8,198
前払費用	20	21
未収収益	944	906
金融派生商品	33	11
その他の資産	6,981	7,258
有形固定資産	15,425	15,128
建物	4,741	4,737
土地	9,614	9,480
リース資産	731	547
建設仮勘定	21	—
その他の有形固定資産	316	363
無形固定資産	702	559
ソフトウェア	393	353
リース資産	271	200
その他の無形固定資産	36	5
繰延税金資産	65	—
支払承諾見返	574	532
貸倒引当金	△4,264	△3,100
資産の部合計	1,356,683	1,337,825

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
預金	1,154,430	1,159,439
当座預金	39,240	40,235
普通預金	609,036	634,666
貯蓄預金	9,591	8,889
通知預金	1,747	294
定期預金	483,434	464,953
定期積金	6,869	6,560
その他の預金	4,511	3,839
借入金	147,391	123,400
借入金	147,391	123,400
外国為替	26	38
未払外国為替	26	38
その他負債	6,380	2,701
未払法人税等	352	44
未払費用	274	287
前受収益	208	196
給付補填備金	0	0
金融派生商品	22	12
リース債務	1,166	882
資産除去債務	39	41
その他の負債	4,315	1,236
役員賞与引当金	5	5
退職給付引当金	1,781	1,697
役員退職慰労引当金	336	351
睡眠預金払戻損失引当金	19	—
偶発損失引当金	41	78
繰延税金負債	—	1,075
再評価に係る繰延税金負債	716	707
支払承諾	574	532
負債の部合計	1,311,703	1,290,027
<b>純資産の部</b>		
資本金	5,481	5,481
資本剰余金	1,487	1,487
資本準備金	1,487	1,487
その他資本剰余金	0	0
利益剰余金	32,679	33,524
利益準備金	3,993	3,993
その他利益剰余金	28,686	29,530
別途積立金	27,437	28,237
繰越利益剰余金	1,249	1,293
株主資本合計	39,648	40,493
その他有価証券評価差額金	4,215	6,208
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,115	1,095
評価・換算差額等合計	5,331	7,304
純資産の部合計	44,980	47,797
負債及び純資産の部合計	1,356,683	1,337,825

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
経常収益	14,124	14,501
資金運用収益	10,488	10,665
貸出金利息	9,452	9,576
有価証券利息配当金	751	814
コールローン利息	23	40
預け金利息	257	230
その他の受入利息	3	3
役務取引等収益	3,353	3,400
受入為替手数料	523	521
その他の役務収益	2,829	2,879
その他業務収益	52	33
外国為替売買益	50	33
商品有価証券売買益	2	—
その他経常収益	228	401
償却債権取立益	11	11
株式等売却益	—	7
その他の経常収益	217	382
経常費用	12,293	12,565
資金調達費用	236	205
預金利息	193	169
債券貸借取引支払利息	1	1
借入金利息	0	0
その他の支払利息	40	34
役務取引等費用	1,988	2,069
支払為替手数料	55	52
その他の役務費用	1,933	2,017
その他業務費用	244	463
国債等債券売却損	244	463
営業経費	9,108	9,285
その他経常費用	715	541
貸倒引当金繰入額	627	380
貸出金償却	25	45
株式等売却損	—	6
株式等償却	18	—
その他の経常費用	43	108
経常利益	1,830	1,935
特別損失	44	129
固定資産処分損	7	21
減損損失	37	108
税引前当期純利益	1,785	1,806
法人税、住民税及び事業税	652	316
法人税等調整額	△61	267
法人税等合計	590	583
当期純利益	1,195	1,223

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	26,737	1,153	31,883
当期変動額								
剰余金の配当							△399	△399
別途積立金の積立						700	△700	—
当期純利益							1,195	1,195
自己株式の取得								
自己株式の処分								
土地再評価差額金の取崩								
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	700	95	795
当期末残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	27,437	1,249	32,679

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	—	38,853	4,780	0	1,115	5,896	44,749
当期変動額							
剰余金の配当		△399					△399
別途積立金の積立		—					—
当期純利益		1,195					1,195
自己株式の取得	△0	△0					△0
自己株式の処分	0	0					0
土地再評価差額金の取崩		—					—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			△564	0	—	△564	△564
当期変動額合計	—	795	△564	0	—	△564	230
当期末残高	—	39,648	4,215	0	1,115	5,331	44,980



当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金		
					別途積立金	繰越利益剰 余金		
当期首残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	27,437	1,249	32,679
当期変動額								
剰余金の配当							△399	△399
別途積立金の積立						800	△800	—
当期純利益							1,223	1,223
自己株式の取得								
自己株式の処分								
土地再評価差額金の取崩							20	20
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	800	44	844
当期末残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	28,237	1,293	33,524

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	—	39,648	4,215	0	1,115	5,331	44,980
当期変動額							
剰余金の配当		△399					△399
別途積立金の積立		—					—
当期純利益		1,223					1,223
自己株式の取得	△0	△0					△0
自己株式の処分	0	0					0
土地再評価差額金の取崩		20					20
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			1,993	0	△20	1,972	1,972
当期変動額合計	—	844	1,993	0	△20	1,972	2,817
当期末残高	—	40,493	6,208	0	1,095	7,304	47,797